

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年1月16日 No.26

6・9
行動

新成人が「すみやか」署名にサイン

長崎では、14日、県原水協が長崎市浜町のアーケード街で原爆症認定制度の見直しや核兵器廃絶などを求める成人の日署名行動を行いました。今年で4回目となる成人の日行動では、参加した24人が晴着姿の新成人たちに「核兵器廃絶署名にご協力ください」と笑顔でよびかけました。「戦争とかいろいろあるので、何かの力になればと思い署名しました(新成人)」。

昨年、成人の日署名数は237筆。今年は何と「すみやか」署名421筆。原爆症認定制度改定要求署名122筆。合計545筆、昨年の2・3倍でした。参加者の中には、前日夜のNHKニュースで知ったという人がいました。マスコミも多数取材に見え、テレビ各社が夕方のニュースで、翌日には新聞各紙でも報道されました。



群馬では、前橋原水協が13日、成人式宣伝・署名行動を行いました。3549人の新成人のうち72%にあたる2568人が参加した前橋グリーンドーム前で、チラシ約400枚を手渡すとともに、のぼり旗を立ててハンドマイクでも宣伝、「すみやか」署名を訴えました。8団体から過去最多の40人が参加し、開式前の1時間で「すみやか」署名が376筆寄せられました。全群馬教職員組合前橋支部は、ぬいぐるみを着て宣伝に一役買いました。

3・1ピキニ パンフ学習すすめ、代表派遣につなげよう

私の平和運動の原点3・1ピキニ集会 歴史も勉強できるパンフ活用し運動の前進を

平井昭夫 岡山県原水協事務局長

俺たちの仲間が一人 灰をかぶって死んだ
灰をかぶったその日 海の幸とったその日 3月1日 -。

いまから44年前、私が夜間高校で生徒会活動や、青年運動に情熱をかたむけていた時、3・1ピキニ集会に出会いました。この歌を唄い原爆許すまじと、校内でカンパを集め代表を静岡に派遣した思い出が、「3月1日」の歌とともによみがえります。(この年の3・1ピキニ集会は、被災10周年記念の集会で、1万3千人が参加)

私の平和運動の原点は3・1ピキニ集会です。

いま、被爆国日本では、非核3原則を国是とする一方で、アメリカの「核の傘」のもとで憲法9条を変え再び戦争する国へ逆戻りさせようとする勢力が暗躍しています。しかし、国民の大多数は、平和な日本、再び核の被害者を作らない。作らせないという切実な願いを抱いています。それは非核自治体宣言、「非核日本宣言」の取り組みを通じ強い確信となりました。また、国際的な大きな非核の流れを作ってきた私たち原水協の草の根の運動に確信を深めました。

3・1ピキニデーの果たしてきた役割を学び、2010年のNPT再検討会議にむけ、その出発点としての今年の3・1ピキニ集会を成功させましょう。今年のパンフレットは原水爆禁止運動の歩み、その出発となった3・1ピキニと反核運動の歴史も勉強できるよう作られています。職場や地域での学習、代表派遣の行動に大いに活用したいと思います。